

1 Artist File

Atsushi Imada,
Piano

プロフィール



今田 篤

(いまだ あつし)

●ジャンル

ピアノ

●所属マネジメント

株式会社ミリオンコンサート協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-10-702
TEL: 03-3501-5638 FAX: 03-3501-5620
E-mail: classic@millionconcert.co.jp

■担当マネージャー

和田 健美 E-mail: wada@millionconcert.co.jp
岩永 直也 iwanaga@millionconcert.co.jp

●アーティスト在住地

静岡県掛川市、埼玉県蕨市

●アーティスト出身地

静岡県掛川市

音楽研鑽歴

2013年 東京藝術大学音楽学部卒業。
2016年 英国王立音楽大学演奏修士課程修了。
2017年 東京藝術大学大学院研究科修了。
2020年 ライプツィヒ音楽演劇大学演奏家課程修了。

音楽活動歴

2016年エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門においてファイナリスト入賞。2018年第10回浜松国際ピアノコンクール第4位。その他日本音楽コンクール、東京音楽コンクール、ピティナピアノコンペティション特級、全日本学生音楽コンクール他国内外のコンクールにて入賞及び優勝。

これまでにベルギー国立管弦楽団、ハリコフフィルハーモニー、サンパウロ青少年交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、他国内外のオーケストラとの共演多数。日本国内の他、英国、フランス、ドイツ、ベルギー、アゼルバイジャン、ウクライナ、ブラジルにて演奏する。

そのほかブリュッセル・ピアノ・フェスティバルや横浜市招待国際演奏会等の著名な音楽祭に出演。

2008年度一般財団法人ヤマハ音楽振興会音楽支援奨学生。2011年、2014年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。2013年度宗次エンジェル基金/新進演奏家国内奨学金奨学生。2017年芸術・文化、若い芽を育てる会奨励賞。明治安田クオリティオブライフ奨学金奨学生。

2018年ベルギーショパン協会賞受賞。

2021年ファーストアルバム「it's time シューマンピアノ作品集」をリリース。音楽現代において推薦盤、レコード芸術において準特選盤に選定される。

公式サイト <http://atsushi-imada.com/>

公式Twitter <https://twitter.com/aimada0830>

自己アピール

僕は3歳からピアノを始め、それ以来30年近くずっとピアノとともに生活してきました。特に高校入学後に東京へ上京してからは更にピアノが生活に占める割合が増し、常に生活の中心に音楽がありました。いつも楽しかった訳ではなく、むしろ辛いことや苦しいことの方が多く、ピアノを辞めてしまおうか考えることも少なくありませんでしたが、毎回音楽の魅力に惹きつけられ、気がつくたびにピアノの前に座って練習する日々の連続でした。音楽の魅力とは不思議なもので、演奏会を何度経験しても飽きることがなく、より深く作曲家やその音楽について知りたいと強く思うようになりました。その音楽の魔力を聴いていただくお客様と一緒に共有したいと思いますし作品の持つ世界観を伝えることのできる演奏家になりたいと、常日頃から思っております。

僕はどのジャンルの音楽も好きですが特にドイツロマン派の作品に強く惹かれるようになり、その中でもシューマンの作品は自分にとって特

別な存在であります。高校入学後はシューマン演奏の第一人者でもある伊藤恵氏、留学先でもドイツロマン派の演奏で定評のあるドミトリー・アレクセーエフとルーステム・サイトクーロフ、ゲラルド・ファウトの各氏のもとで英国とドイツ、そしてフランスにて5年間勉強し、ロマン派の演奏には絶対的な自信を持っています。自分自身のシューマンの演奏の特徴は、多彩な音色と作品の持つ二面性の対比です。このシューマンの二面性こそがこの作曲家の最大の魅力であると考えており、ロマン派の中では難解と思われがちな作品も、自分の演奏を通して興味を持っていただけるよう魅力を引き出すことのできる演奏を目指していきます。ロマン派以外にもバロックから近現代まで勉強してきました。それぞれの時代の代表的な作品を通して、時代背景やスタイルを感じていただけるようプログラムを工夫していきたいと思っております。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

アウトリーチの活動を通して、音楽好きの方にも今まで音楽に親しみのなかった方々にも、もっと音楽が好きになるプログラム、また音楽を聴きたいと思うようなプログラムにしていきたいと考えています。クラシック音楽は一般的に敷居の高いものとされていますが、そういった作品ばかりではなく、テレビのCMで流れるものであったり、ドラマや映画で使用されている作品もあり、日常生活において意識していないだけで、数多くのクラシック作品に触れていると思います。そういった作品をクイズ形式やゲームを交え楽しみながら演奏を聴くことによってクラシックへの苦手意識を払拭し、より音楽や歴史に好奇心を持ってもらえるようなエピソードなどお話ししていきたいと思っております。音楽はスポーツのように、演奏する人も鑑賞する人も誰でも楽しむことのできるものであることを感じていただきたいです。またクラシック音楽の歴史は楽器の進化とともにありました。皆さんの知っているピアノという楽器は昔からずっ

と同じ形ではなく、徐々に変わっていき100年ほど前に現在とほぼ同じ形になりました。楽器と作曲家がお互いに刺激を受け合い様々な作品が誕生しており、それを堅苦しくなることなく演奏を通して感じていただき、楽器の魅力もお伝え出来るようにしたいと考えています。美的感覚が時代や作曲家のバックグラウンドによっても変わることに注目し、様々な美しさや感情、そして価値観が存在することも伝えていきたいと思っております。

コンサートではドイツに留学した経験やロシア人ピアニストのもとで勉強してきたことを活かして、シューマンを中心とするドイツロマン派やロシアの美しい小品、そして聞き馴染みのある作品から自分が心から感動する作品を全身全霊で演奏し、音楽の持つ圧倒的なパワーや神秘的な世界観、言葉では表現することのできない感動体験を味わっていただきたいと思っております。

演奏可能プログラム

J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第1番
J.S.バッハ＝ラフマニノフ：無伴奏パルティータ第3番
モーツァルト：ピアノソナタ イ短調KV.310、イ長調KV.331、
ハ長調KV.545、ニ長調KV.576、きらきら星
変奏曲、ロンド ニ長調KV.485、ロンド イ短
調KV.511
ベートーヴェン：ピアノソナタ第8番 Op.13「悲愴」、ピアノ
ソナタ第14番 Op.27-2「月光」、ピアノソナ
タ第15番 Op.28「田園」、ピアノソナタ第
23番 Op.57「熱情」
シューベルト：楽興の時 D.780、即興曲 Op.142
シューマン：子供の情景 Op.15、幻想小曲集 Op.12、ウィー
ンの謝肉祭の道化 Op.26、謝肉祭 Op.9、アラバ
スク Op.18

ブラームス：パガニーニの主題による変奏曲 Op.35、間奏曲
Op.118-2
ショパン：スケルツォ第1番、第2番、バラード第1番、第3番、
英雄ポロネーズ Op.53、練習曲 Op.10、Op.25、
ノクターン Op.9-2、Op.15-2ほか
リスト：メフィストワルツ第1番 S.514、ピアノソナタ S.178、
3つの演奏会用練習曲より第2曲「軽やかさ」、愛の
夢第3番
ドビュッシー：小さな黒人、アラベスク第1番、月の光、前奏
曲集より「花火」、夢
ラヴェル：水の戯れ、クーブランの墓
ラフマニノフ：前奏曲 Op.23-4、楽興の時 Op.16
プロコフィエフ：ピアノソナタ第7番 Op.83